

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	長岡造形大学
設置者名	公立大学法人長岡造形大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
造形学部	プロダクトデザイン学科	夜・通信	16	46	45	107	13	
	視覚デザイン学科	夜・通信			85	147	13	
	美術・工芸学科	夜・通信			10	72	13	
	建築・環境デザイン学科	夜・通信			81	143	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/academics/curriculum/credit/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長岡造形大学
設置者名	公立大学法人長岡造形大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページに掲載 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/officer/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2022. 4. 1～ 2026. 3. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	商工会議所役員	2022. 4. 1～ 2026. 3. 31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長岡造形大学
設置者名	公立大学法人長岡造形大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学の卒業認定・学位授与の方針及び教育課程の編成・実施の方針に基づき、科目ごとに授業概要、達成目標、学位授与方針との関連、成績評価基準等をシラバスに記載し、大学ホームページ及び学生ポータルサイトにて、学生に周知している。</p> <p>(シラバスの作成及び公表過程)</p> <p>9月～10月 開講科目・担当教員の確認及び委員会での審議</p> <p>12月上旬 各科目の担当教員にシラバス作成を依頼</p> <p>1月上旬 シラバス提出締切</p> <p>1月～3月 シラバス確認・校正作業</p> <p>3月下旬 シラバスの公開</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学ホームページで公表</p> <p>https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/academics/curriculum/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業担当教員に対しては、シラバスへの成績評価基準の明記や採点の適正な実施の徹底を図るとともに、学生に対しては、シラバスや履修ガイド等により各科目における卒業認定・学位授与の方針との関連、成績評価基準等を明記し、成績評価基準を周知することにより、厳格かつ適正な成績評価を行っている。また、成績評価に関する異議申し立て制度を設け、学生から異議申し立てがあった場合は、シラバス等の周知内容に照らし合わせ、成績評価の過程や根拠を示すなど、客観的な成績評価を徹底している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1～100点までの評点により、100点～90点をS、89点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をC、59点以下をDとする達成目標に応じた評価基準を設け、評価を行っている。</p> <p>また、5段階の評価にそれぞれS=4、A=3、B=2、C=1、D=0とするグレードポイント(GP)を付与し、当該期に履修した各科目のGPにその科目の単位数を乗じたものの合計を、履修登録した科目の総単位数で除し、学期ごとのグレードポイントアベレージ(GPA)を算出している。</p> <p>成績評価基準並びにGP及びGPAの算出方法は、履修ガイドに記載し、学生に周知するとともに、学生の成績通知表に個人のGPA及び所属学年・学科全体のGPAを記載することにより、自身の成績水準の把握を促している。</p> <p>また、学期ごとに成績分布及びGPAの傾向について、教務委員会にて確認している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学ホームページで公表 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/academics/curriculum/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定・学位授与の方針及び教育課程の編成・実施の方針に基づき、カリキュラムを編成している。また、学科、コース別のカリキュラムの特徴や、学科ごとのカリキュラムフローを作成し、履修ガイド等にて公表している。</p> <p>なお、シラバスにて科目ごとに到達目標と卒業認定・学位授与の方針との関連を明記し、相互の関係性についての理解を促している。また、卒業研究については、所属分野の教員全員による講評を行うとともに、一般に公開する卒業・修了研究展の実施により、客観的な質の担保に繋げている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>大学ホームページで公表 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/educational-policy/ https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/academics/curriculum/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	長岡造形大学
設置者名	公立大学法人長岡造形大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/corporate/
収支計算書又は損益計算書	https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/corporate/
財産目録	
事業報告書	https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/corporate/
監事による監査報告(書)	https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/corporate/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:年度計画 対象年度:令和4年度)
公表方法:大学ホームページで公開 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/corporate/
中長期計画(名称:中期計画 対象年度:令和2~7年度)
公表方法:大学ホームページで公開 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/corporate/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:(本学ホームページ) https://www.nagaoka-id.ac.jp/info/official/check/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:(以下は公益財団法人 大学基準協会のホームページです。) https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=265&page=1#result1
--

3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 造形学部
教育研究上の目的 (公表方法: 教育研究上の目的 (公表方法: 大学ホームページで公表 https://www.nagaoka-id.ac.jp/contents/pdf/info/hojin-info/9.pdf
(概要) 本学は、広く知識を授けるとともに、深く造形の理論と技術の教授研究を行い、知的、道徳的及び応用的能力を展開させて、造形を通して真の人間の豊かさを探求し、これを社会に還元することができる創造力を備えた人材を養成し、もって地域社会の生活及び文化の発展と産業の振興に貢献することを目的としている。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページで公表 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/educational-policy/
(概要) 社会の要請を的確に認識し様々な課題に対して創造的な解決策を提示するための 3 つの力「社会人基礎力」「構想力」「造形力」を養うことを教育の目標とする。 これらの能力の獲得を目的とする授業科目を履修し、卒業要件単位を修得した者に学士課程学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学ホームページで公表 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/educational-policy/
(概要) ○地域・社会や企業と連携した実践的なデザインプロジェクトにより、社会人基礎力を養成する「地域・社会連携系」科目の拡充。 ○構想力を重視したデザインプロセスを総合的に学ぶ演習・実習科目の強化。 ○複合的な造形力修得のための横断的科目の充実。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 大学ホームページで公表 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/educational-policy/
(概要) 社会において創造的役割を担いたいとの強い気持ちを抱き、基礎的な学力・表現力及び学ぶ意欲を持ち、長岡造形大学でのカリキュラムを通してその実現に向けた力を養いたいと思う者を広く受け入れる。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: 大学ホームページで公表 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/disclosure/system/
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
造形学部	—	24人	20人	0人	3人	0人	47人
造形研究科	—	1人	1人	0人	1人	3人	3人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				0人			182人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページで公開 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
造形学部	230人	254人	110.4%	920人	1055人	114.7%	※人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	230人	254人	110.4%	920人	1055人	114.7%	※人	0人
(備考) ※編入学定員は、欠員の範囲としている								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
造形学部	221人 (100%)	10人 (4.5 %)	183人 (82.8%)	28人 (12.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	221人 (100%)	10人 (4.5%)	183人 (82.8%)	28人 (12.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)	
<p>本学の卒業認定・学位授与の方針及び教育課程の編成・実施の方針に基づき、科目ごとに授業概要、達成目標、卒業認定・学位授与の方針との関連、成績評価基準等をシラバスに記載し、大学ホームページ及び学生ポータルサイトにて、学生に周知している。</p>	
(シラバスの作成及び公表過程)	
9月～10月	開講科目・担当教員の確認及び委員会での審議
12月上旬	各科目の担当教員にシラバス作成を依頼
1月上旬	シラバス提出締切
1月～3月	シラバス確認・校正作業
3月下旬	シラバスの公開

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<p><学習の成果に係る評価></p> <p>1～100点までの評点により、100点～90点をS、89点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をC、59点以下をDとする達成目標に応じた評価基準を設け、評価を行っている。</p> <p>また、5段階の評価にそれぞれS=4、A=3、B=2、C=1、D=0とするグレードポイント(GP)を付与し、当該期に履修した各科目のGPにその科目の単位数を乗じたものの合計を、履修登録した科目の総単位数で除し、学期ごとのグレードポイントアベレージ(GPA)を算出している。</p> <p>成績評価基準並びにGP及びGPAの算出方法は、履修ガイドに記載し、学生に周知するとともに、学生の成績通知表に個人のGPA及び所属学年・学科全体のGPAを記載することにより、自身の成績水準の把握を促している。</p> <p>また、学期ごとに成績分布及びGPAの傾向について、教務委員会にて確認している。</p>
<p><卒業又は修了の認定基準></p> <p>卒業認定・学位授与の方針及び教育課程の編成・実施の方針に基づき、カリキュラムを編成している。また、学科、コース別のカリキュラムの特徴や、学科ごとのカリキュラムフ</p>

ローを作成し、履修ガイド等にて公表している。
なお、シラバスにて科目ごとに到達目標と卒業認定・学位授与の方針との関連を明記し、相互の関係性についての理解を促している。また、卒業研究については、所属分野の教員全員による講評を行うとともに、一般に公開する卒業・修了研究展の実施により、客観的な質の担保に繋げている。

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：（本学ホームページ）
<https://www.nagaoka-id.ac.jp/info/equipment/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
造形学部	全学科	535,800円	282,000円	50,000円	区域外入学者入学金 その他費用として実習料を徴収
	全学科	535,800円	141,000円	50,000円	区域内入学者入学金(長岡市内 在住者) その他費用として実習料を徴収
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 教員が特定の場所・時間に待機し、学生の質問・相談等に応じるオフィスアワーや、1・2年生にホームルーム担任を配属し、履修を含めた大学生活全般について学生のサポートを行うホームルーム制度を実施している。また、修学する上で様々な困難を抱えている学生の相談窓口として修学特別支援室を設置している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) ・1年次からガイダンス、各種講座を積極的に開催 ・一人ひとりの顔が見える、マンツーマン中心の指導体制 ・豊富なインターンシップ体験を通じた、実践的な就職活動
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 通常の健康管理のほか、専門的な学生相談(週3回の臨床心理士によるカウンセリング、月2回の内科医師による健康相談)を実施している。また、全学生を対象とした心身健康調査や、健康への意識向上のための健康フェア等の取組を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページで公表 https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/overview/disclosure/

別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	長岡造形大学
設置者名	公立大学法人長岡造形大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		125人	120人	135人
内 訳	第Ⅰ区分	66人	75人	
	第Ⅱ区分	39人	31人	
	第Ⅲ区分	20人	14人	
家計急変による支援対象者（年間）				1人
合計（年間）				136人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	6人	人	人
計	6人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	15人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	15人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。